

日本デジタル医学会雑誌投稿規定

1. 本誌の目的

日本デジタル医学会雑誌（Japanese Journal of Digital Medicine and Healthcare, JJDMHC）は、医療・ヘルスケア領域におけるデジタル技術・AI・データサイエンスの応用に関する学術成果を共有し、学際的研究の発展と社会実装に寄与することを目的とする。

2. 投稿資格

筆頭著者は原則として本学会会員とする。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りでない。

3. 原稿の種類

投稿論文は、「原著」、「総説」、「解説」、「学会大会記録論文」、「その他」とし、その種別を明記すること。

- (1). 原著：デジタル医学・ヘルスケア領域における新たな知見やデータベース・ソフトウェア・システム開発など学術的、技術的新規性を主題とするもの。
- (2). 総説：ある特定のテーマについて既存の研究成果を文献調査などにより広く収集・分析・整理し、現状と今後の展望について俯瞰的に示すもの。
- (3). 解説：ある技術やテーマについて教育的に紹介するもの。
- (4). 学会大会記録論文：学会大会における発表内容を論文形式の抄録にまとめたもの。
- (5). その他：編集委員会が認めたもの。

4. 言語

原稿は、別記する執筆要項に従い、日本語または英語で記載する。

5. 二重投稿・重複出版

他誌に掲載済み、投稿中、掲載予定の論文の投稿は二重投稿とみなす。投稿原稿が二重投稿でないことを著者全員が証明し、誓約書（別紙）に署名して提出すること。ただし、プレプリントは投稿可とするが、投稿時に必ず申告すること。会議抄録としての発表は重複出版に該当しないが、全文掲載された場合は投稿不可とする。なお、他誌に掲載済み論文であっても、医学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）の二次出版の条件を満たし、編集委員長が認めた場合は査読対象とする。

6. 著者資格

著者は以下のICMJEの著者要件をすべて満たす者とする。

- (1). 研究の構想・デザイン、データ取得、解析・解釈への実質的貢献
- (2). 原稿の執筆または重要な知的内容の批判的校閲
- (3). 最終原稿の承認
- (4). 論文全体の正確性・公正性について責任を持ち、説明責任を負うことへの同意

7. 寄与者 (Contributors)

著者要件を満たさない貢献者（例：データ収集、統計支援、資金提供者、技術協力者）は、謝辞に記載すること。謝辞に記載する場合は、本人の同意を得ること。

8. 利益相反 (COI)

論文本文に、論じられている主題についての利益相反の有無を明記する。全著者は、COI フォーム（別紙）を提出すること。また、研究資金提供者の役割（研究デザイン・解析への関与の有無）を明記する。なお、ダブルブラインド査読のため、COI は投稿時には Title Page に記載し、本文には記載しない（採択後に編集委員会が本文末尾に追加する）。

9. 倫理上の配慮

- (1). ヒトを対象とした研究では、ヘルシンキ宣言に基づき、研究協力者の人権への配慮、研究内容についての説明と同意の方法（書面・高等・免除理由）、個人情報保護の方法、所属機関の倫理規定に準拠していることを記載する。倫理審査免除の場合は、その理由を明記する。なお、倫理審査機関名・承認番号は Title Page に記載する（採択後に編集委員会が本文に追加する）。
- (2). 動物実験では、ARRIVE（動物実験：In Vivo 実験の報告）ガイドラインに準拠して動物福祉への配慮を記載する。
- (3). デジタルデータ・AI 研究では、個人情報保護法・EU 一般データ保護規則（GDPR）等への準拠、データの匿名化方法、AI モデルの透明性（モデル名、バージョン、学習データの概要、モデルの限界、バイアス評価、使用したプロンプトの扱いなど）について記載する。

10. 臨床試験登録

前向き介入研究は、UMIN-CTR などの臨床試験登録システムに事前登録する。登録番号は投稿時には Title Page に記載する（採択後に編集委員会が本文に追加する）。また、臨床試験の論文には、投稿時点で Data Availability Statement を提出すること。

11. AI 利用ポリシー

AI の利用に関する投稿では、以下の要件を満たすこと。

- (1). 使用した AI ツール名、バージョン、利用目的を方法に明記する。

- (2). AI を著者として記載することは不可。
- (3). 機密データを AI に入力しないこと。
- (4). 画像生成 AI による画像加工の有無を明記する。
- (5). AI 生成データを実データとして扱うことを禁止する。
- (6). 生成 AI による出力内容については、著者が責任を負う。
- (7). 必要に応じて、使用したプロンプトの概要を記載する。

12. データ共有ポリシー

原著論文が採択された場合は、データ利用可能ステートメント (Data Availability Statement) を提出する。臨床試験の論文は、投稿時点で提出する。

13. 研究不正・撤回ポリシー

出版倫理委員会 (COPE) ガイドラインに準拠し、捏造・改ざん・盗用が疑われる場合は調査を行う。不正が確認された場合は、撤回 (retraction)、訂正 (correction)、または表明 (expression of concern) を行う。画像不正 (過度な加工、AI 生成の混入など) も対象となる。

14. 査読

査読は、編集委員会が選定した 2 名の査読者によるダブルブラインド査読を行う。改定は指定期間内に提出し、採否は編集委員会が最終決定する。採択後、著者校正、編集確認を経て本誌ホームページに公開する。なお、学術大会記録論文については、提出原稿の字句、用語などの明らかな誤りのみを編集委員会が修正して掲載する。

15. 校正

著者校正は初校のみとする。日本語で投稿の場合、英文抄録、図表で使用されている英語について、また、英語での投稿の場合は、論文全体に対して専門の英文校正業者、あるいは所属組織の英語の専門家等による校正を受けること。

16. 著作権・ライセンス

著者は、本学会が論文を受理した時点において、当該論文の著作権を本学会へ譲渡すること、及び著作者人格権を行使しないことに同意しなければならない。ただし、著者が開発したデータベースやソフトウェア及びハードウェア等に関する権利等は譲渡の対象としない。

本誌に掲載された論文及び資料等に関するすべての著作権は本学会に帰属する。著者に自己アーカイブ権を許可する。

本誌はオープンアクセスジャーナルであり、すべての論文はクリエイティブ・コモンズ表示 (CC BY) ライセンスの条件下で公開する。

17. 掲載料

無料とする。

18. 早期公開

査読を経て採択され、著者の最終確認（校正）が完了した論文について、J-STAGE での正式公開に先立ち、学会ウェブサイト上で「早期公開 (Early online)」として公開することがある。早期公開版は、ページ番号と DOI が付与されず、レイアウトが暫定版である場合があるが、正式な学術成果として引用可能である。また、正式公開版と同様にクリエイティブ・コモンズ表示 (CC BY) ライセンスが適応される。引用にあたっては、早期公開である旨を明記する。

19. 投稿方法

論文は、誓約書、チェックリスト、COI フォームを添付し、E-mail で編集委員会 (journal@jsdmhc.jp) に送付する。ファイル名は半角英数字とする。

20. 個人情報の取り扱い

日本デジタル医学会編集委員会は、著者などの個人情報を個人情報保護法に基づき適切に管理し、本誌の編集・発行に関する目的や本学会活動の案内などに関する目的において、必要な範囲のみで使用する。保有する個人情報に関して、漏洩や毀損の防止に努める。

2026 年 1 月 24 日制定